

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費

生産振興課（内線：7272）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考																																																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																																			
(新)産地生産基盤パワーアップ事業	0	97,106	97,106	60,106		(雑入) 37,000																																																				
トータルコスト	補正前：0千円(0.0人)、補正：97,889千円(0.1人)、計：97,889千円(0.1人)																																																									
事業内容の説明																																																										
<p>1 事業の目的、概要 収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業団体等が行う施設整備、農業機械及び生産資材の導入等を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>細事業名</th> <th>内容</th> <th>補正前</th> <th>補正</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金事業</td> <td>野菜、果樹等の農業機械等のリース導入、生産資材導入を支援する。 ・実施主体：農業者、農業者の組織する団体等 ・補助率：公益財団法人日本特産農産物協会助成金 1/2</td> <td>0</td> <td>37,000</td> <td>37,000</td> </tr> <tr> <td>整備事業</td> <td>大豆の乾燥調製施設整備による機能向上及び麦・大豆産地の生産性効率化に向けた機械導入を支援する。 ・実施主体：農業者、農業者の組織する団体等 ・補助率：国 1/2</td> <td>0</td> <td>60,106</td> <td>60,106</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>0</td> <td>97,106</td> <td>97,106</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 その他（改善点等） 当該事業を積極的に活用し、共同利用施設及び産地の生産環境を整備することで、早急に県内の主要産地の活力増進を図ってきており、引き続き事業要望が見込まれるため支援する。 ○令和6年度明許予算（産地生産基盤パワーアップ事業）118,500千円</p> <p>【産地パワーアップ事業（国）を活用した県内の主な取組事例】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>市町村（JA）</th> <th>作物</th> <th>事業内容</th> <th>補助金額（百万円）</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>北栄町（JA中央）</td> <td>長芋</td> <td>集出荷貯蔵施設</td> <td>128</td> <td>R4.3月完成</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>北栄町 琴浦町（JA中央）</td> <td>スイカ ブロッコリー</td> <td>集出荷貯蔵施設 製氷設備</td> <td>588 55</td> <td>R5.3月完成 R5.3月完成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>倉吉市（JA中央）</td> <td>スイカ</td> <td>集出荷貯蔵施設</td> <td>345</td> <td>R6.3月完成</td> </tr> <tr> <td>H27～ R6</td> <td>鳥取市、北栄町、倉吉市、大山町、琴浦町他（各JA）</td> <td>葉物野菜、スイカ、イチゴ、アスパラガス、トマト、花壇苗等</td> <td>鳥取型低コストハウス整備</td> <td>(～R5年度末実績) 1,622 (R6年度見込) 87</td> <td>1,725棟、48.9ha (R6年度未見込)</td> </tr> </tbody> </table>									細事業名	内容	補正前	補正	計	基金事業	野菜、果樹等の農業機械等のリース導入、生産資材導入を支援する。 ・実施主体：農業者、農業者の組織する団体等 ・補助率：公益財団法人日本特産農産物協会助成金 1/2	0	37,000	37,000	整備事業	大豆の乾燥調製施設整備による機能向上及び麦・大豆産地の生産性効率化に向けた機械導入を支援する。 ・実施主体：農業者、農業者の組織する団体等 ・補助率：国 1/2	0	60,106	60,106	合計		0	97,106	97,106	年度	市町村（JA）	作物	事業内容	補助金額（百万円）	備考	R3	北栄町（JA中央）	長芋	集出荷貯蔵施設	128	R4.3月完成	R4	北栄町 琴浦町（JA中央）	スイカ ブロッコリー	集出荷貯蔵施設 製氷設備	588 55	R5.3月完成 R5.3月完成	R5	倉吉市（JA中央）	スイカ	集出荷貯蔵施設	345	R6.3月完成	H27～ R6	鳥取市、北栄町、倉吉市、大山町、琴浦町他（各JA）	葉物野菜、スイカ、イチゴ、アスパラガス、トマト、花壇苗等	鳥取型低コストハウス整備	(～R5年度末実績) 1,622 (R6年度見込) 87	1,725棟、48.9ha (R6年度未見込)
細事業名	内容	補正前	補正	計																																																						
基金事業	野菜、果樹等の農業機械等のリース導入、生産資材導入を支援する。 ・実施主体：農業者、農業者の組織する団体等 ・補助率：公益財団法人日本特産農産物協会助成金 1/2	0	37,000	37,000																																																						
整備事業	大豆の乾燥調製施設整備による機能向上及び麦・大豆産地の生産性効率化に向けた機械導入を支援する。 ・実施主体：農業者、農業者の組織する団体等 ・補助率：国 1/2	0	60,106	60,106																																																						
合計		0	97,106	97,106																																																						
年度	市町村（JA）	作物	事業内容	補助金額（百万円）	備考																																																					
R3	北栄町（JA中央）	長芋	集出荷貯蔵施設	128	R4.3月完成																																																					
R4	北栄町 琴浦町（JA中央）	スイカ ブロッコリー	集出荷貯蔵施設 製氷設備	588 55	R5.3月完成 R5.3月完成																																																					
R5	倉吉市（JA中央）	スイカ	集出荷貯蔵施設	345	R6.3月完成																																																					
H27～ R6	鳥取市、北栄町、倉吉市、大山町、琴浦町他（各JA）	葉物野菜、スイカ、イチゴ、アスパラガス、トマト、花壇苗等	鳥取型低コストハウス整備	(～R5年度末実績) 1,622 (R6年度見込) 87	1,725棟、48.9ha (R6年度未見込)																																																					

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

生産振興課（内線：7272）

6目 農作物対策費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	0	147,897	147,897			(雑入) 88,738	59,159	
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：148,680千円（0.1人）、計：148,680千円（0.1人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、「鳥取県農業生産1千億円達成プラン」に基づき、県と関係機関が開発した鳥取型低コストハウスの導入を推進し、高収益な施設園芸品目の生産拡大を図る。

2 主な事業内容

細事業名	内容	補正前	補正	計
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	スイカ等の産地強化を図るために、鳥取型低コストハウスの整備に要する経費の一部を支援する。 ・実施主体：農業者、生産法人、生産組織、JA等 ・補助率：国 1/3 程度（資材費の 1/2）、県 2/9 程度、市町村 1/9 程度 ※補助率が 2/3 となるよう県と市町村が 2:1 の負担割合で嵩上げ	0	147,897	147,897

3 その他（改善点等）

収益性の高い施設園芸等の推進により鳥取型低コストハウスの整備が進んでおり、施設園芸の強みを活かした産地強化が図られているが、引き続き事業要望が見込まれるため支援する。

○令和6年度明許予算（鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業）232,134千円

【低コストハウスの導入実績及び計画】

年度	導入面積（棟数）	主な作物	実施市町村
H27～R3	38.6ha (1,371)	スイカ・葉物野菜、トマト、アスパラガス、育苗（ネギ、ブロッコリー）、花壇苗、イチゴ・小玉スイカ、ブドウ	鳥取、岩美、八頭、智頭、倉吉、湯梨浜、三朝、北栄、琴浦、大山、米子、境港、伯耆、日南
R4 [明許繰越]	4.9ha (174)	アスパラガス スイカ ブロッコリー育苗	鳥取 倉吉、北栄、琴浦 大山
R5 [明許繰越]	4.0ha (135)	スイカ	倉吉、北栄、琴浦
R6 [明許繰越] (11月28日現在)	1.4ha (45) (見込)	スイカ ブロッコリー育苗	倉吉、北栄、琴浦 大山
R6	2.3ha (68) (計画)	スイカ ブロッコリー育苗	倉吉、北栄、琴浦 大山
合計	51.2ha (1,793)		

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

生産振興課（内線：7272）

6目 農作物対策費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ハウス強靱化による施設園芸加速化対策事業	0	8,990	8,990	8,990				
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：9,773千円（0.1人）、計：9,773千円（0.1人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

近年、頻発する大雪、台風等の気象災害による農業用ハウスの被害拡大を踏まえ、被害の未然防止に向けた複数農業者等による事業継続計画（BCP）の検討・策定に向けた取組と、BCPに沿って行う既存の農業用ハウスの補強や防風ネット設置等の気象災害防止対策を行う農業者等を支援する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	補正前	補正	計
(1) 事業継続計画（BCP）の検討・策定に向けた取組	事業継続計画（BCP）の策定に向けた取組 ・実施主体：市町村、JA、地域農業再生協議会、農業者等 ・補助率：国定額	0	150	150
	ハウス補強や保守管理のためのマニュアル作成や講習会の開催等 ・実施主体：県 ・補助率：国定額	0	350	350
(2) 既存ハウスの補強等の被害防止対策	野菜・花き、果樹用のパイプハウスの補強に対する支援 ・実施主体：市町村、農業者団体、地域農業再生協議会、農業者等 ・補助率：国1/2	0	8,490	8,490
合計		0	8,990	8,990

※（1）の実施にあたって、市町村単位で実施する場合は市町村を通じた間接補助

3 その他（改善点等）

これまで「農業用パイプハウス強化マニュアル」の作成・配付やハウス補強等に係る研修会の実施、市町村等と連携を図りながら110箇所（3.4ha）のハウス補強を支援してきたが、引き続き事業要望が見込まれるため支援する。

○令和6年度明許予算（ハウス強靱化による施設園芸加速化対策事業）2,000千円

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
2項 畜産業費
2目 畜産振興費

畜産振興課（内線：7285）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考																
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																	
(新) 県産乳製品加工施設生産強化支援事業	0	2,824,834	2,824,834	2,700,000			124,834																	
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：2,825,617千円（0.1人）、計：2,825,617千円（0.1人）																							
事業内容の説明																								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>農業生産1千億円達成プランでの生乳生産量6万トンの目標達成を推進するため、乳製品加工基幹施設を整備することにより、生産者が安心して生乳生産できる体制を目指す。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助率</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳製品加工基幹施設の整備に係る支援</td> <td style="text-align: right;">5,400,000</td> <td>国1/2以内</td> <td style="text-align: right;">2,700,000</td> </tr> <tr> <td>国事業を活用して行う乳製品加工基幹施設の整備に係る国庫補助対象外部分に対する支援</td> <td style="text-align: right;">374,500</td> <td>県1/3以内</td> <td style="text-align: right;">124,834</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">5,774,500</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">2,824,834</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 その他（改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で生産される生乳生産量は、平成29年には年間生乳生産量が5万3千トンまで落ち込んでいたが、畜産クラスター事業を活用した規模拡大や大規模酪農法人の誕生により、令和2年に6万トンまで回復し、その後も生産量を維持している。 ・令和5年より国事業を活用した牛乳・乳製品の輸出拡大を推進しており、香港・台湾市場をターゲットとし、鳥取県産の良質な牛乳を原料とした高品質な乳製品をPRし、販路拡大を展開している。 									事業内容	事業費	補助率	予算額	乳製品加工基幹施設の整備に係る支援	5,400,000	国1/2以内	2,700,000	国事業を活用して行う乳製品加工基幹施設の整備に係る国庫補助対象外部分に対する支援	374,500	県1/3以内	124,834	合計	5,774,500	—	2,824,834
事業内容	事業費	補助率	予算額																					
乳製品加工基幹施設の整備に係る支援	5,400,000	国1/2以内	2,700,000																					
国事業を活用して行う乳製品加工基幹施設の整備に係る国庫補助対象外部分に対する支援	374,500	県1/3以内	124,834																					
合計	5,774,500	—	2,824,834																					

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
4項 林業費
2目 林業振興費

県産材・林産振興課（内線：7307）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 木材産業国際競争力強化対策事業	0	414,352	414,352	393,550			20,802	
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：415,135千円（0.1人）、計：415,135千円（0.1人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内森林資源の有効活用、木材製品の国際競争力強化及び花粉発生源であるスギ人工林の伐採等を目的に、県内スギ人工林等を伐採搬出するための生産基盤の整備、木材加工流通施設の大規模・高効率化、供給力強化の整備を支援する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	補正前	補正	計																
木材加工流通等施設整備	実施主体：木材加工業者等 補助対象施設：プレカット加工施設装置 補助率 (1) 木材加工流通施設整備 国 1/2以内 (2) 附帯事務費 国 1/2以内	0	108,327	108,327																
高性能林業機械等の整備	実施主体：森林組合等 補助対象機械：フォワーダ、ハーベスタほか 補助率：国 1/2以内	0	70,748	70,748																
路網整備	実施主体：都道府県、市町村、森林整備法人、森林組合等 実施内容：林業専用道作設5,276m 補助率 (1) 林業専用道整備 ・作設 定額 (国+県嵩上げ、平均地山傾斜により区分) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>平均地山傾斜</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15度未満</td> <td>32千円/m</td> <td>—</td> <td>32千円/m</td> </tr> <tr> <td>15度以上 25度未満</td> <td>35千円/m</td> <td>3千円/m</td> <td>38千円/m</td> </tr> <tr> <td>25度以上</td> <td>38千円/m</td> <td>7千円/m</td> <td>45千円/m</td> </tr> </tbody> </table> ・既設道の補強 定額(国) ・既設道の点検診断 定額(国) (2) 附帯事務 国 1/2以内	平均地山傾斜	国	県	計	15度未満	32千円/m	—	32千円/m	15度以上 25度未満	35千円/m	3千円/m	38千円/m	25度以上	38千円/m	7千円/m	45千円/m	0	235,277	235,277
平均地山傾斜	国	県	計																	
15度未満	32千円/m	—	32千円/m																	
15度以上 25度未満	35千円/m	3千円/m	38千円/m																	
25度以上	38千円/m	7千円/m	45千円/m																	
合計		0	414,352	414,352																

3 その他（改善点等）

○令和6年度明許予算（木材産業国際競争力強化対策事業） 216,015千円

令和6年度一般会計補正予算説明資料

3 款 民生費

2 項 児童福祉費

1 目 児童福祉総務費

子育て王国課（内線：7150）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
子どものための教育・保育給付費県負担金	2,838,541	294,479	3,133,020				294,479	
トータルコスト	補正前：2,841,671千円（0.4人）、補正：295,262千円（0.1人）、計：3,136,933千円（0.5人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

国経済対策において、人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定の内容に準じた保育士・幼稚園教諭等の公定価格の引上げにより、私立保育所・幼稚園・認定こども園等に従事する職員に対し令和6年4月まで遡って処遇改善が行われることから、当該処遇改善に必要な経費の一部を負担する。

2 主な事業内容

区分	内 容
実施主体	市町村
負担割合	国 1/2、県 1/4、市町村 1/4 ※1号認定に係る地方単独費用部分のみ県1/2、市町村1/2
対象施設	私立の認可教育・保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園） 及び公立、私立の地域型保育事業所
予算額	294,479千円（保育士等の公定価格の引上げによる処遇改善に必要な経費）

3 その他（改善点等）

保育士等の処遇改善により、保育人材の定着や保育環境の改善等につなげる。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

2目 事務局費

教育センター（電話：0857-28-2387）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ICT環境整備事業	1,207,664	7,700	1,215,364	2,566			5,134	
トータルコスト	補正前：1,255,813千円（7.4人）、補正：8,483千円（0.1人）、計：1,264,296千円（7.5人）							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>県立学校において、インターネットや情報機器を積極的に活用した授業を展開できるよう、安定したインターネット環境の提供を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>県立学校からインターネットに接続する通信経路上に通信のボトルネックとなっている箇所がないか調査する。</p> <p>3 その他（改善点等）</p> <p>令和5年度においては、鳥取県が管理しているネットワーク集約部分機器及び県立学校（抽出2校）でネットワーク調査を実施したところ、県立学校のネットワークを集約している機器の性能が不足しており、ボトルネックとなっていることが判明し、機器の交換を実施した。その後、再度ネットワークアセスメントを実施し、状況が改善されていることを確認した。</p>								
鳥取県義務教育諸学校教育情報化推進基金造成事業	225	665,339	665,564	665,339				
トータルコスト	補正前：1,008千円（0.1人）、補正：666,122千円（0.1人）、計：667,130千円（0.2人）							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>基金の造成により、GIGAスクール構想の第2期を見据えた1人1台端末の計画的な更新を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>令和8年度整備予定端末の補助金の原資として、基金への新規積立を行う。</p> <p>3 その他（改善点等）</p> <p>学校のICT環境は、国が「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）（※2024年度まで延長）」で示す水準を目標に、GIGAスクール構想のもと、国庫補助金「公立学校情報機器整備費補助金」等を活用して児童・生徒の1人1台端末が利用できるように整備してきた。</p>								

令和6年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

2目 事務局費

教育センター、高等学校課（電話：0857-28-2387）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
高等学校DX加速化推進事業	30,000	76,000	106,000	76,000				
トータルコスト	補正前：32,348千円（0.3人）、補正：76,783千円（0.1人）、計：109,131千円（0.4人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

情報・理数系を重視するカリキュラムの実施やICTを活用した文理横断的、探究的、実践的な学びを強化するために必要な環境を整備し、高等学校段階におけるデジタル人材育成の抜本的強化を図る。

2 主な事業内容

- (1) デジタル人材育成のために必要な設備・機器整備
 - ・高性能PC、3Dプリンタ、3Dスキャナ、VR機器等を配備したSTEAMラボの設置
 - ・高性能PC、大型ディスプレイ、VR/AR機器など専門機器の整備
 - ・AI、メタバースなどの最新デジタル技術の導入 など
- (2) 外部専門人材を活用した情報系科目の内容充実
 - ・他県大学との連携や外部講師招聘による講座の実施
 - ・大学、企業と連携した生成AI、ビッグデータ等の活用に係るデジタル技術の理解促進

など

区分	内容	予算額
新規校	新たに本事業の採択を希望する学校 (10,000千円×2校=20,000千円)	20,000
継続校 (既採択校)	一般枠 情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修促進やデジタルを活用した文理横断的・探究的な学び等を実施する採択校 (5,000千円×5校=25,000千円)	25,000
	重点類型 一般枠の取組に加え、産業界等と連携した最先端の職業人材育成の取組を希望する採択校（全国で50校） (7,000千円×3校=21,000千円)	21,000
県横断型経費	県域内の採択校などを対象に横断的な取組（研修等）を行う経費	10,000
合計		76,000

3 その他（改善点等）

- 事業実施にあたり、実際に学校を訪問し取組内容について意見交換したり、採択校間での情報共有が進むようオンライン会議を開催しての共有やノートやクラウドサービスなどを使った情報共有を実施。
- 情報Ⅱに係る取組として、農場等に本事業により設置したセンサーをプログラミングにより制御する授業を実施。
- 大学や企業と連携し、画像認識に係る課題研究、データサイエンス研修などを実施。
- デジタルを活用した授業を実施するため、高性能PC、3Dスキャナ・プリンター、VRゴーグルを購入する等、デジタル環境を整備。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

財政課（内線：7046）

17 目 臨時財政対策債償還基金費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
臨時財政対策債償還基金費	42,450	2,100,000	2,142,450				2,100,000	
トータルコスト	補正前：43,233千円（0.1人）、補正：2,100,783千円（0.1人）、計：2,144,016千円（0.2人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

国の補正予算において、令和7年度及び令和8年度における臨時財政対策債の元利償還金の財源の一部として、普通交付税に「臨時財政対策債償還基金費」が追加算定されるため、基金に積み立てる。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

障がい福祉課 (内線：7193)

12目 障がい者自立支援事業費

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県社会福祉施設等施設整備事業	170,475	141,774	312,249	70,886	<17,500> 35,000		35,888	県費負担 53,388

トータルコスト 補正前：174,388千円 (0.5人)、補正：142,557千円 (0.1人)、計：316,945千円 (0.6人)

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

障がい福祉サービス事業所等、県内障がい福祉関係の社会資本の整備を促進するため、施設整備を行う事業者に対して助成を行う。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
鳥取県社会福祉施設等施設整備費補助金	利用者の環境改善、ハード面における県内の障がい福祉の向上及び増進が図られるよう、社会福祉法人等による円滑な施設整備等を促進する。 【事業主体】社会福祉法人、NPO法人、営利法人等 【対象事業】障がい福祉サービス事業所等の創設（新築）、改築・大規模修繕 【対象経費】施設整備に必要な工事費及び設計監理費 【補助率】3/4（財源：国1/2、県1/4） ※国が別途定める基準額を上限とする。 【内容】共同生活援助（グループホーム）2件への支援を予定	106,330
鳥取県重度障がい児者及び強度行動障がい児者利用施設基盤整備事業補助金	重症心身障がい児者が、より地域で生活しやすくするため、日中活動の場における支援の充実、住まいの場（ショートステイ含む）の充実を図る。 【事業主体】社会福祉法人、NPO法人、営利法人等 【対象事業】重症心身障がい児者等を受け入れるために、生活介護事業所、グループホーム、放課後等デイサービス事業所等を創設（新築）する事業等で、鳥取県社会福祉施設等施設整備費補助金において、補助対象経費が国庫補助基準額を上回っている事業。 【補助率】以下のうち、いずれか低い額 1 鳥取県社会福祉施設等施設整備費補助金における補助対象経費から国庫補助基準額を除いた額に1/2を乗じた額 2 国庫補助基準額に1/4を乗じた額（福祉保健部長が特に必要と認める場合は、国庫補助基準額に1/2を乗じた額） 【内容】共同生活援助（グループホーム）2件への支援を予定	35,444

3 その他

<近年の実績（社会福祉施設等施設整備費補助金のみ）>

令和6年度	グループホームの創設1件、多機能型施設の創設1件
令和5年度	グループホームの創設1件
令和4年度	グループホームの創設1件 多機能施設の大規模修繕（非常用自家発電装置更新）1件
令和3年度	グループホームの創設1件、多機能施設の大規模修繕1件 自立訓練（生活訓練）事業所の大規模修繕1件

(注) 起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。
備考欄の県費負担は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

障がい福祉課 (内線: 7193)

12目 障がい者自立支援事業費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 鳥取県障がい福祉分野におけるロボット・ICT導入支援事業	0	15,000	15,000	10,000			5,000	

トータルコスト 補正前: 0千円 (0.0人)、補正: 15,783千円 (0.1人)、計: 15,783千円 (0.1人)

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

障がい福祉分野従事者の業務負担軽減等を図り、働きやすい職場環境の整備を推進するため、障害福祉サービス事業所等に対し介護ロボット及びICTの導入を支援する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
鳥取県障がい福祉分野におけるロボット等導入支援事業補助金	障害福祉サービス事業所等を対象として、職員の身体的負担軽減と利用者の生活の質の向上のため、各種ロボットを導入する経費を補助する。 【対象サービス】 ・施設入所支援 (障害者支援施設) ・共同生活援助 (グループホーム) ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・短期入所 ・重度障害者等包括支援 ・障害児入所施設 【補助率】 3/4 (国 1/2, 県 1/4) ※1 機器あたり上限 300 千円。ただし移乗介護及び入浴支援は上限 1,000 千円	5,000
鳥取県障がい福祉分野におけるICT導入モデル事業補助金	障害福祉サービス提供に当たり、業務の効率化や省力化、専門的業務に注力しやすい環境整備等のため、ICT機器等を導入する経費を補助する。 【対象サービス】 全ての障害福祉サービス 【対象経費】 ICT導入に係る経費 (端末及びソフトウェア購入費、保守・サポート費等) 【補助率】 3/4 (国 1/2, 県 1/4) ※1 事業所あたり上限 1,000 千円	5,000
鳥取県就労系障がい福祉サービスにおけるICT機器等導入支援事業補助金	働きやすい環境を整備し、生産能力の向上を図るため、障がい特性に配慮したICT機器等を導入する経費を補助する。 【対象サービス】 就労系障害福祉サービス 【対象経費】 ICT機器等導入に係る経費 (AIレジ、予約・顧客管理システムの導入等) 【補助率】 3/4 (国 1/2, 県 1/4) ※1 事業所あたり上限 1,000 千円	5,000

3 その他

<近年の実績>

- ・障がい福祉分野におけるロボット等導入支援事業補助金 (R2～)
R2: 7事業所、R3: 9事業所、R4: 4事業所、R5: 2事業所、R6: 実績なし
- ・障がい福祉分野におけるICT導入モデル事業補助金 (R4～)
R4: 1事業所、R5: 10事業所、R6: 13事業所
- ・就労系障がい福祉サービスにおけるICT機器等導入支援事業補助金 (R6～)
R6: 2事業所

令和6年度一般会計補正予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

長寿社会課（内線：7175）

4目 老人福祉費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業	698,405	594,645	1,293,050	475,716			118,929	

トータルコスト 補正前：699,970千円（0.2人）、補正：595,428千円（0.1人）、計：1,295,398千円（0.3人）

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

介護職員の負担軽減や業務効率化を更に推進し、介護現場の生産性向上による職場環境の改善を図ることを目的として、介護ロボット及びICT（情報通信技術）の導入を支援する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
介護テクノロジー一定着支援事業補助金	(1) 介護ロボット導入支援事業 実施主体：各介護事業所 補助率：3/4 補助上限額：1機器につき30万円（移乗支援・入浴支援は100万円） 補助限度台数：利用定員を10（在宅サービスの場合は20）で除した数	74,752
	(2) 介護分野ICT導入支援事業 実施主体：各介護事業所 補助率：3/4 補助上限額：事業所の職員数に応じて100万円から260万円までの範囲の額	97,667
	(3) 介護テクノロジーのパッケージ型導入支援事業（R6～） 介護ロボットやICT等の複数のテクノロジーを組み合わせて導入する介護事業所に対し、介護ロボット及びICTの導入を一体的に支援する。 実施主体：各介護事業所 補助率：3/4 補助上限額：1事業所あたり1,000万円	422,226

3 その他

- 導入実績：介護ロボット導入支援 平成28年度から令和5年度まで 356機器（延べ165事業者）
 ICT導入支援 令和元年度から令和5年度まで 746製品（延べ385事業者）

令和6年度一般会計補正予算説明資料

4款 衛生費

4項 医薬費

2目 医務費

医療政策課 (内線：7182)

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 電子処方箋の活用・普及促進事業	0	68,058	68,058	45,372			22,686	
トータルコスト	補正前：0千円 (0.0人)、補正：68,841千円 (0.1人)、計：68,841千円 (0.1人)							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内の医療機関及び薬局が、電子処方箋の導入に向けて行う電子カルテシステム等の改修を支援し、効率的で安全・安心な医療の提供を図る。

2 主な事業内容

国のICT基金補助金を活用し、今年度内に電子カルテシステム等の改修を行う医療機関・薬局に対して改修費等の一部を補助する。

※医療DXの推進に関する工程表に基づき、国において令和7年3月末までに概ね全ての医療機関及び薬局での導入が目指されている。

区分	内容	予算額
大規模病院 (200床以上)	【補助率(補助上限額)】 1/6 (1,003) 【実施見込施設数】 6 (対象の5割)	6,018
中・小規模病院	【補助率(補助上限額)】 1/6 (676) 【実施見込施設数】 15 (対象の5割)	10,140
医科・歯科診療所	【補助率(補助上限額)】 1/4 (135) 【実施見込施設数】 180 (対象の3割)	24,300
薬局	【補助率(補助上限額)】 1/4 (138) 【実施見込施設数】 200 (対象の8割)	27,600

(補助スキーム (例))

大規模病院 (200床以上) の場合 (例：整備費6,022千円)

国 ICT基金補助金 (1/3) 2,007千円	県補助 (1/6) 1,003千円 国庫2/3 県費1/3	病院負担分 (1/2) 3,012千円
-----------------------------	-------------------------------------	------------------------

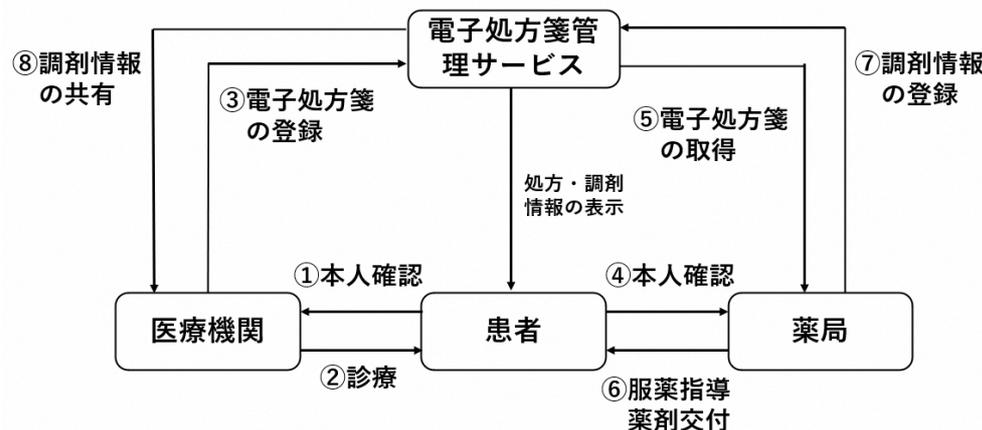
3 その他

(電子処方箋の概要)

○従来、紙の処方箋に記入していた処方内容と調剤内容を電子化。処方内容と調剤内容を確認するシステム「電子処方箋管理サービス」をクラウド上に構築し、本システムを経由して医療機関・薬局間で処方情報などをやりとりするもの (R5. 1月から運用開始、当面紙の処方箋による運用も可)。

○導入のメリット：(患者) 自己の処方・調剤情報を閲覧可能、薬局での待ち時間の短縮 など
(医療機関・薬局) 重複投薬の防止、診療報酬による評価 (医療DX推進体制整備加算)

【電子処方箋の流れ】



令和6年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

5項 特別支援学校費

2目 特別支援学校費

教育環境課（内線：7946）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
特別支援学校 環境整備事業	4,622	291,564	296,186	47,075	<122,000> 244,000		489	県費負担 122,489
トータルコスト	補正前：5,405千円（0.1人）、補正：292,347千円（0.1人）、計：297,752千円（0.2人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県立特別支援学校の老朽化対策工事等を行い、教育施設としてふさわしい環境の整備を図る。また、障がいや疾病のある児童・生徒が安心して学べる学習環境を構築するための施設整備を行う。

2 主な事業内容

区分	事業内容	予算額
長寿命化改修事業	エアコン更新（3校）	185,827
老朽トイレ洋式化整備事業	老朽化したトイレの洋式化工事（3校）	93,857
バリアフリー事業	紫外線防止フィルム貼付工事（1校）	11,880
合計		291,564

3 その他（改善点等）

施設設備の改修工事の適正な執行と計画的な施設修繕等、教育環境の改善に取り組んでいる。
また、令和2年度に作成した長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、建物の長寿命化、改修経費の平準化を目的として、効果的な保全を実施している。

（注）起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

農地・水保全課（内線：7323）

4目 農地防災事業費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) (公共事業) 農地防災事業 (国補正)	0	618,485	618,485	339,135	<106,500> 213,000	(負担金等) 64,327	2,023	県費負担 108,523
トータルコスト	補正前:0千円(0.0人)、補正:621,617千円(0.4人)、計:621,617千円(0.4人)							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

農村地域の防災力の向上を図るため、ため池や頭首工などの土地改良施設の防災・減災対策を実施する。

2 主な事業内容

事業名		補正前	補正	計	補正理由
補助事業	(新) 県営農地防災事業調査 (国補正)	0	35,000	35,000	国補正に伴う補正
	(新) 県営地域ため池総合整備事業 (国補正)	0	425,700	425,700	
	(新) 県営農業用河川工作物応急対策事業 (国補正)	0	100,000	100,000	
	(新) 県営たん水防除事業 (国補正)	0	30,000	30,000	
	小計	0	590,700	590,700	
補助事業 計		0	590,700	590,700	
補助事務費 (国補正)		0	27,785	27,785	国補正に伴う補正
補正に係るもの 計		0	618,485	618,485	

(着工地区の概要：別紙のとおり)

3 その他 (改善点等)

令和6年度国補正予算を活用して事業の早期効果発現を図る。

今後、ため池が決壊した際の下流影響度や地元調整状況を踏まえ、計画的に改修工事やソフト対策を併せて進めていく。

- 令和6年度明許予算 (農地防災事業 (国補正)) 302,232千円
- 令和6年度当初予算 (農地防災事業) 631,127千円
- 令和6年度6月補正 (農地防災事業) 689,933千円

(注) 起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 5 目 造林費

森林づくり推進課（内線：7305）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 造林事業 (国補正)	0	673,335	673,335	470,000	<101,500> 203,000		335	県費負担 101,835
トータルコスト 補正前：0千円（0.0人）、補正：674,118千円（0.1人）、計：674,118千円（0.1人）								

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、木材生産等森林の持つ多面的機能に対する国民の要請が多様化する中、森林を適切に管理することによって、これらを高度に発揮させるため、一定の要件を満たす森林組合、林業事業者、森林所有者等が行う森林整備（間伐、森林作業道の開設等）を支援する。

2 主な事業内容

事業名	補正前	補正	計	補正理由
森林環境保全直接支援事業	0	673,335	673,335	国補正に伴う補正

（着工地区の概要：別紙のとおり）

3 その他（改善点等）

- ・豊かな森づくり協働税による造林事業（間伐）への上乗せを廃止し、皆伐再生林の強化へシフトする。
- ・間伐に対しては、令和6年度国補正から関係市町が支援する。

- 令和6年度明許予算（造林事業（国補正））471,620千円
- 令和6年度当初予算（造林事業）884,926千円

（注）起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
4 項 林業費
5 目 造林費

森林づくり推進課（内線：7305）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)花粉発生源対策促進事業(国補正)	0	252,651	252,651	150,000	<51,000> 102,000		651	県費負担 51,651
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：253,434千円（0.1人）、計：253,434千円（0.1人）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

スギ花粉症は健康面だけでなく経済面にも影響を与えており大きな社会問題となっていることから、スギ人工林における、発生源対策としての森林整備を支援する。
なお、花粉対策の取組は皆伐再造林の推進にも資するものである。

2 主な事業内容

発生源除去・少花粉品種への転換

事業名	補正前	補正	計	補正理由
花粉発生源対策事業 (特定機能回復事業)	0	252,651	252,651	国補正に伴う補正

（着工地区の概要：別紙のとおり）

3 その他（改善点等）

スギ人工林における伐採から造林までの一貫作業等に対して支援し、花粉発生源の植替えにより人工林の確実な若返りを促進する必要がある。

（注）起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。
県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

5項 水産業費

水産振興課 (内線: 7314)

8目 漁港建設費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 特定漁港漁場整備 事業	186,000	136,500	322,500	91,000	<22,500> 45,000		500	県費負担 23,000
トータルコスト	補正前: 197,738千円 (1.5人)、補正: 137,283千円 (0.1人)、計: 335,021千円 (1.6人)							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

境漁港について、国が策定する高度衛生管理基本計画に基づき、消費者の「安全・安心」のニーズに対応した高度衛生管理型市場、災害に強く流通拠点となる防災対応型漁港を整備し、水産物の安定的な供給と、輸出など漁業の国際化にも対応できる力強い水産業を推進する。

2 主な事業内容

- ・高度衛生管理型市場の整備 (水産振興課) (継続費)

＜うち補正予算に係る事業内容＞

8号上屋の新築に伴い必要な燃油配管、ソーラスフェンスの移設 (補償費)

＜継続費年割額＞

継続費	年度	継続費年割	財源内訳		
			国庫	起債	一般財源
令和6年度 当初予算後	平成28年度～令和5年度	17,749,421	11,588,246	5,755,000	406,175
	令和6年度	600,000	400,000	180,000	20,000
	令和7年度	849,251	566,167	254,000	29,084
	計	19,198,672	12,554,413	6,189,000	455,259
令和6年度 国補正	令和6年度	△277,500	△185,000	△84,000	△8,500
	令和7年度	187,500	125,000	57,000	5,500
	令和8年度	90,000	60,000	27,000	3,000
	計	0	0	0	0
令和6年度 国補正後	平成28年度～令和5年度	17,749,421	11,588,246	5,755,000	406,175
	令和6年度	322,500	215,000	96,000	11,500
	令和7年度	1,036,751	691,167	311,000	34,584
	令和8年度	90,000	60,000	27,000	3,000
	計	19,198,672	12,554,413	6,189,000	455,259

3 その他 (改善点等)

現在は、1号上屋・陸送上屋 (令和元年6月)、2号上屋 (令和4年8月)、かにかご上屋 (令和5年6月) 及び7号上屋 (令和6年10月) の供用開始により、消費者の安全・安心に応える境漁港の本格的な高度衛生管理の取組を開始しており、残る8号上屋の完成に向けて計画的に整備を推進していく。

(注) 起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債の上段< >書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

2項 道路橋りょう費

3目 道路橋りょう新設改良費

道路建設課（内線：7360）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 地域高規格道路整備事業(国補正) [一般公共事業]	0	510,000	510,000	280,500	<114,500> 229,000		500	県費負担 115,000

トータルコスト 補正前：0千円(0.0人)、補正：512,348千円(0.3人)、計：512,348千円(0.3人)

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

地域間の交流促進や観光振興などの効果発現を早期に図るとともに、災害に強い県内幹線道路ネットワークを構築するため、国補正に伴う増額補正を行い、地域高規格道路の整備を促進する。
令和6年度は、令和7年3月に「北条湯原道路」(倉吉西IC(倉吉市福光)～倉吉南IC(倉吉市福山)延長3.8km)の開通を予定している。

2 主な事業内容

○ 国道313号倉吉道路・倉吉関金道路・北条倉吉道路(延伸) (「北条湯原道路」の一部)

箇所	延長	幅員	事業年度	総事業費	令和6年度 予算	補正予算
(倉吉関金道路)倉吉市 関金町大鳥居～小鴨	7,010 m	7.0(13.5)m	平成23年度～	252億円	552百万円	310百万円
(北条倉吉道路(延伸)) 北条町弓原	400 m	6.5(11.0)m	平成29年度～	90億円	1,511百万円	140百万円

・事業効果：市街地の渋滞解消と安全性の向上、工業団地・農産物集出荷施設へのアクセス改善

○ 国道181号江府道路 (「江府三次道路」の一部)

箇所	延長	幅員	事業年度	総事業費	令和6年度 予算	補正予算
日野郡江府町 武庫～佐川	4,065 m	6.5(9.5)m	平成17年度～	192億円	2,491百万円	60百万円

・事業効果：踏切交差点や線形不良箇所での渋滞・事故の解消、事前通行規制区間の解消

3 その他(改善点等)

「北条湯原道路」の供用状況

平成9年10月 国道313号犬狹峠道路(延長9km(うち鳥取県6km))供用

平成19年3月 国道313号北条倉吉道路(延長6km)供用

平成25年6月 国道313号倉吉道路(倉吉IC～倉吉西IC)(延長3km)供用

令和7年3月 国道313号倉吉道路・倉吉関金道路(倉吉西IC～倉吉南IC)(延長3.8km)供用予定

「江府三次道路」の供用状況

平成17年7月 国道183号生山道路(延長3km)供用

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

2項 道路橋りょう費

3目 道路橋りょう新設改良費

道路建設課 (内線: 7360)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) ICアクセス道路整備事業 (国補正) [一般公共事業]	0	1,050,000	1,050,000	577,500	<236,000> 472,000		500	県費負担 236,500
トータルコスト 補正前: 0千円 (0.0人)、補正: 1,052,348千円 (0.3人)、計: 1,052,348千円 (0.3人)								
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
高速道路整備の効果を最大限に発揮するため、国補正に伴う増額補正を行い、以下のとおりICアクセス道路1箇所の整備を促進する。								
2 主な事業内容								
○国道179号 (はわいバイパス) ※接続するIC 山陰道 (北条道路) はわいIC								
箇所	延長	幅員	事業年度	総事業費	令和6年度 予算	補正予算		
湯梨浜町 田後～はわい長瀬	2,510 m	6.5(11.0)m	令和元年度～	31億円	260百万円	1,050百万円		
3 その他 (改善点等)								
○山陰道 (北条道路) の整備状況 はわいIC～北条IC (仮称) 令和8年度※ 北条IC (仮称)～大栄東伯IC 工程精査中 (※埋蔵文化財調査及び大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工事等が順調に進捗した場合)								

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

2項 道路橋りょう費

2目 道路橋りょう維持費

道路企画課（内線：7361）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)通学路 安全対策事業 (国補正)〔一 般公共事業〕	0	201,000	201,000	110,550	<45,000> 90,000		450	県費負担 45,450
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：203,348千円（0.3人）、計：203,348千円（0.3人）							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
児童・生徒の安全を確保するため、警察、道路管理者、学校関係者が合同で行う通学路安全合同点検により指摘された通学路の危険箇所のうち、道路管理者が対策する必要がある歩道の整備等を実施する。								
2 主な事業内容								
<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備、交差点改良等による通学路対策（7箇所） 事業例 <ul style="list-style-type: none"> 県道鳥取河原線（倭文工区） 歩道整備 延長 550m 県道若葉台東町線（修立工区） 交差点改良 延長 100m 								
3 その他（改善点等）								
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から令和3年度の通学路点検で要対策箇所とされた649箇所のうち、601箇所において対策が完了した。（整備率92.6%） 未完了箇所については、早期完了に向けて引き続き取り組んでいく。 								
※通学路対策は、当事業のほか道路改良事業、街路事業等において実施中である。								
・令和6年度当初予算 1,528,461千円								

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。
県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和6年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

2項 道路橋りょう費

2目 道路橋りょう維持費

道路企画課（内線：7356）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)除雪事業(補助) (国補正) [一般公共事業]	0	300,000	300,000	200,000			100,000	

トータルコスト 補正前：0千円（0.0人）、補正：302,348千円（0.3人）、計：302,348千円（0.3人）

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

気象庁の予報では、今冬は、ラニーニャ現象の影響により日本海側で冬型の気圧配置になりやすく、積雪量が「平年並みか多い見込み」と発表されており、今回の補正により、比較的除雪実績の多かった令和4年度並みの予算を確保する。

2 主な事業内容

- ・ 県管理道路において、除雪、凍結防止剤散布等を行い、冬期の安全かつ安心な交通確保を図る。

3 その他（改善点等）

- ・ 平成28年度の豪雪を受け、平成29年度に除雪計画の見直しを行い、除雪作業の初動の迅速化を図っている。
- ・ 平成29年度以降は、冬期交通の確保が図られているが、引き続き効率的な除雪業務の執行と必要な経費の確保を行っていく。

令和6年度当初予算

除雪事業（補助）	880,001千円
除雪事業	210,000千円
県と市町村の事務の連携・共同処理事業（除雪委託）	99,999千円

令和6年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

河川課（内線：7379）

2目 河川改良費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)大規模特定河川事業（国補正） 〔一般公共事業〕	0	1,120,000	1,120,000	560,000	<280,000> 560,000			<県負担> 280,000
トータルコスト	補正前：0千円（0.0人）、補正：1,120,783千円（0.1人）、計：1,120,783千円（0.1人）							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>県内で改修を行っている河川のうち、放水路整備、橋梁架替や排水機場の整備が必要な一定の要改修区間について、国の個別補助事業を活用した集中投資を行い、早期の浸水被害軽減効果の発現を図るもの。</p> <p><国の採択要件></p> <p>橋梁架替や排水機場など集中的な投資が必要な区間において概ね10年以内に完了し事業費が10億円以上であるもので、一定の事業効果があるものとして国が認めるもの。</p> <p><補助事業で改修中の河川></p> <p>塩見川（放水路整備）、砂田川（JR橋架替）、私都川（JR橋架替）、水貫川（排水機場）、小松谷川（橋梁架替）</p> <p>2 主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私都川（事業費 215百万円）：JR橋の旧橋撤去等 ○塩見川（事業費 550百万円）：福部駅周辺及び塩見橋架替に係る地盤改良、箭溪川放水路整備の設計等 ○水貫川（事業費 250百万円）：排水機場整備に係る日野川本川への排水路・樋門整備等 ○小松谷川（事業費 105百万円）：堤防護岸整備等 <p>3 その他（改善点等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○塩見川については、令和5年7月豪雨で計画規模（204mm/24h,46mm/h）を上回る降雨（223mm/24h,46mm/h）があったものの、平成29年9月豪雨（156mm/24h,18mm/h）よりも浸水被害が軽減（浸水戸数29戸減）されるなど、着実に事業効果を発揮している。 ○水貫川（排水機場整備）については、10～20年に一度の洪水規模に対する床上浸水被害解消を目指し、令和6年度に主要設備となるポンプ設備工事を発注する等、令和8年度の運用開始を目指して予定通り事業進捗している。 ○その他の河川についても、順調に事業進捗を図ることができている。 ○国においては、平成30年7月豪雨などの甚大な被害を受け、事業効果の早期発現を図るために河川改修については、交付金から個別補助（大規模特定河川事業）への移行による重点投資を進めており、本県も国の採択要件を満たす可能性のある河川については、適宜、国との協議を行いながら個別補助化の検討を行っている。 <p>・令和6年度当初予算（大規模特定河川事業）808,000千円</p>								

（注）起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。